

前期基本計画 平成29年度 基本施策方針評価書

政 策 : 02 健やかで笑顔にあふれ、互いに支えあうまちを目指します

基本施策 : 05 住みなれた地域で暮らし続けられる地域包括ケアの実現

主管課長職・氏名	地域包括支援センター長 佐藤 修子
関係課長職・氏名	高齢者支援課長 鈴木 常明

1. 基本施策の平成29年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

	<p>一人一人が輝き、健やかで笑顔あふれるまちづくりのため、医療、介護、予防、住まい、生活支援が一体的に提供され、多様な地域の社会資源で支えあう、住みなれた地域で安心して暮らし続けることのできる地域包括ケアシステムの構築をめざし、地域包括支援センターの運営を活発に行うとともに、在宅医療・介護連携や認知症施策の推進、生活支援サービスの体制整備を図ります。</p>
--	---

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	幸 福 地域とつながっていると感じている人の割合 単 位 %	37.2	38	40	42	44	46	A	
			35.9	38.2	43.7	-	-	73.9	
2	暮 ら し 老後が不安なく暮らせると思っている人の割合 単 位 %	14.4	14.6	14.8	15	15.2	15.4	A	
			15.7	16.6	21	-	-	660.0	
	単 位								

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施 策 名 施 策 目 標 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮 ら し 02050100 継続した包括支援の実施 老後が不安なく暮らせると思っている人の割合 単 位 %	14.4	14.6	14.8	15	15.2	15.4	A	
			15.7	16.6	21	-	-	660.0	
2	幸 福 02050100 継続した包括支援の実施 地域とつながっていると感じている人の割合 単 位 %	37.2	38	40	42	44	46	A	
			35.9	38.2	43.7	-	-	73.9	
3	暮 ら し 02050200 介護予防の推進 自分が心身ともに元気と感じている人の割合 単 位 %	57.1	58	58.6	59.3	60	60.5	B	
			57	58.4	58.4	-	-	38.2	
4	幸 福 02050200 介護予防の推進 地域に役立つ機会を持っていると感じている人の割合 単 位 %	28.8	30	33	36	39	42	D	
			30.7	32.1	28.4	-	-	△3.0	
5	暮 ら し 02050300 日常生活支援総合事業の適正な実施 老後が不安なく暮らせると思っている人の割合 単 位 %	14.4	14.6	14.8	15	15.2	15.4	A	
			15.7	16.6	21	-	-	660.0	

前期基本計画 平成29年度 基本施策方針評価書

政 策：02 健やかで笑顔にあふれ、互いに支えあうまちを目指します

基本施策：05 住みなれた地域で暮らし続けられる地域包括ケアの実現

主管課長職・氏名	地域包括支援センター長 佐藤 修子
関係課長職・氏名	高齢者支援課長 鈴木 常明

2. 基本施策の実現に向けての平成29年度までの取り組み状況を分析する

(1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

A	達成した
<p>第6期滝沢市高齢者保健福祉計画に基づき、高齢者が住みなれた地域のなかで安心して暮らし続けられることができるよう、在宅医療と介護の連携は必要不可欠なものとして捉えており、関係機関が連携できる取り組み支援を継続しました。また、相談件数が増加傾向にある認知症に関しては、普及啓発を含め速やかに活動を行えるようボランティア養成研修を実施しました。生活支援体制整備については、生活支援コーディネーターにおいて高齢者の生活に必要なニーズ調査を実施し、多様なサービスがあるなか、市民が必要とする生活支援サービスについて協議体と共に検討しました。</p>	

(2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、平成29年度の重点課題の達成（実現）状況

A	達成した
<p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護連携推進への支援及び認知症施策の継続推進 生活支援体制整備の推進 <p>【重点課題に対する達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護の一体的な提供の継続支援と、増加が見込まれる認知症の対策としてボランティアを養成しました。 生活支援体制整備における生活支援サービスの検討を始めました。 	

3. 基本施策の実現に向けての平成29年度実施後での変化を認識する

(1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<p>高齢化が進展することによる、社会保障制度改革や国の施策の動向に注視するとともに、多様化するニーズに対応できる体制整備が必要となります。</p>	

(2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし
<p>政策達成のため、引き続き同一内容の基本施策の実施が必要であるため、見直しの必要はありません。</p>	

4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 平成31年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <p>高齢者が、住みなれた地域で安心して暮らし続けられるよう、引き続き地域包括ケアシステムの構築推進に向け包括支援の実施、介護予防の取り組みを継続していきます。</p> <p>【引継課題】</p> <p>活発な状態にある高齢者や要支援・要介護になる恐れのある高齢者が日常生活を続けられるよう介護予防に注力するとともに、在宅生活を支える地域づくりやサービスの創作など生活支援体制整備の継続が必要です。</p>	

